

歩行侵入虫対策 ～よりよい対策を行うために～



写真1：防虫ブラシ 写真2.3：工場での設置写真

夏も終わり日も短くなって涼しい日が多くなってきました。生き物も冬を目前に動きが変わります。

虫の侵入対策となると飛んで入ってくる虫を気にしがちですが、歩行侵入してくる虫にも注意が必要です。

歩行侵入する虫は多数いますが、例えばダンゴムシやヤスデなどは建物周辺の植木の下や生い茂る草の影等の直接日の当たらない場所に生息しますので、できる限りこういった環境をなくすことが重要です。また、ゴミムシや羽アリは飛翔して光に集まり、歩いて侵入してきますので、夜間はできる限り電気を切ることや、建物の光が

外に漏れないようにする等の対策を行うと良いでしょう。しかし、屋外の対策には限度があり、虫をゼロにすることはできないため、侵入対策も必要になります。

そんな虫が建物に侵入してくるのは、ドアやシャッター、窓枠等の低部に生じるわずかな隙間で、閉塞を完全に出来ないような場所です。そのため、いかに開け閉めをしやすい状態を保ちながら、虫が侵入して来ないようにするかが大切になります。

そのような場所の隙間閉塞を行うためには防虫ブラシがおすすめです（写真2.3）。虫だけでなく、塵が隙間から入ることを防ぐこと

も出来るので衛生的です。店舗や事務所、人家などに設置する場合は、扉に合わせた見た目に分かりやすく、きれいなデザインのものもあります（写真4.5）。日の当たる場所への設置や開け閉めの回数などで、劣化具合も変動しますので、交換時期や使用方法については都度ご相談ください。虫の種類に合った対策と隙間閉塞を合わせて行うことで、より良い対策を行うことが出来ます。

まずはどんなことにお困りか弊社担当者にご相談ください。



写真4.5：建物に合ったデザイン

今月の



豆知識

万能な“お茶”のはなし

お茶には様々な種類がありますが、緑茶、ウーロン茶、紅茶はすべて同じチャノキ（ツバキ科）から作られます。

日本茶は奈良時代には身分の高い人が嗜むものとされ、輸入されたお茶は薬として飲まれていました。「お茶で一服」はここからきています。このため、お茶には多くの効能があることが昔から知られています。実際に、お茶に含まれる「カテキン」はインフルエンザや癌、高血圧、心臓病の予防にも効果が

あると研究発表がされています。また、食中毒菌の殺菌やダイエット、お茶の入ったお湯で足湯をすると、水虫にも効果があるとされます。さらに、残った茶葉にも水に溶けない成分（食物繊維やビタミンE、ベータカロテンなど）が多く含まれているため、茶葉を細かく刻んでふりかけにしたり、炒め物やお菓子に入れると無駄なく栄養を摂ることができます。

日本人にとって、とても身近なお茶を飲んで健康に過ごしませんか。